



# 第 1292 回例会報告

平成24年11月1日(木) 晴

【10月はロータリー財団月間】

## 会長挨拶

会長 蒲地整志

### ペンの暴力

先般、大阪市の橋下市長と週刊朝日・朝日新聞とのやり取りが報道されました。朝日側が謝罪をしても、まだ一件落着とはいかないようです。

私は以前から、日本のマスコミはかなり悪い方向へ向かっていると思っておりました。

「報道の自由」を錦の御旗に掲げて、やりたい放題の感さえします。

自由には責任が求められます。

現在の日本のマスコミは、売れば何でもありとする姿勢が露骨に見て取れます。

社会主義国家にはマスコミはありません。(あっても政府の宣伝機関です)

ですから、民主主義国家のマスコミの責任は重大です。

報道の自由を掲げるのならば、もっと真摯な姿勢が必要です。

真のマスコミとは何でしょう？

10月は職業奉仕月間でした。

月間の締めにあたり「四つのテスト」の真実かどうかの大切さ、重要性を改めて再確認しましょう

## ◇幹事報告◇

### 【報告事項】

1) お客様からお土産をいただきました。バックと携帯用コーモリです。バックとコーモリおひとつずつお持ち帰りください。

2) 渡邊国際奉仕委員長に、地区補助金についての会議に出席とご苦勞をいただいております。次年度補助申請は3月までですので、よろしくお願い致します。

3) 米山奨学生ホームカミング制度による元米山奨学生の招待推薦について案内が来ています。

### ■出席報告

会員数	35名
出席対象	35名
出席者数	25名
出席率	71.4%
前回修正	85.7%

### ■ニコニコBOX

24名	37,000円
累計	496,000円
目標額	130万円
達成率	38.2%

### ■今週のこトバ

2640地区から米山奨学生タピア・ミゲル・レオ・バーカス君、4名のお客様と山崎ガバナー補佐様をお迎えました。

蒲地整志

2640地区米山奨学生の卓話に同行させていただきました。

PDG米田真理子、DGEナール久保治雄、ガバナー補佐雪本孝治、雑誌広報委員長・カウンセラー京谷知明

### ■次回のプログラム

11月15日

諏訪圏工業メッセ見学と  
実行委員長卓話

職業奉仕委員会

会場が諏訪市文化センターとなります。お間違え無く



米山奨学生世話人をなされた方に後ほどお渡しします。

4) 地区補助金20万円が10月30日付振り込まれました。

5) ローター財団寄付明細書が届きました。関係委員会にお渡しします。

6) 11月13日(火)朝9時から「グローバル補助金」のウェビナー(オンライン研修)が予定されています。英語で行われますと発表しましたが、2640地区の皆さんから「日本語です」と訂正されました。

7) 東京オリンピック、パラリンピック招致のためのピンバッジとリーフレットが届きました。お配りします

8) 国際ローター日本事務局奉仕室臨時ニュースとしてメールアドレスを持ってという案内が来ました。メールアドレスの無いクラブなどあるのでしょうか。

#### 【受領文書】

ローターの友、ガバナー月信、ローター財団未来の夢ニュース、RI日本事務局財団室NEWS、2600地区ローターアクトより【RAC】ローターアクト広報誌「2600Times」、バギオ基金についてニュース

本日も岩村会員から沢山の菊の鉢植えをいただきました。会場が賑やかになり感謝いたします。またお客様にもお持ち帰りいただき喜ばれました。

なお岩村会員は本年度「諏訪大社奉獻菊花大会」最優秀賞を受賞されました。本年は菊の生育に難しい年と聞いておりますので、素晴らしいことです。

### お客様のご挨拶とバナー交換

例会卓話に先立ち堺フェニックスクラブとバナーの交換を行い、お客様から一言ずつご挨拶をい



いただきました。



## 第1292回例会

### 米山奨学生卓話例会

米山奨学生タピア・ミゲル・レオ・バーカス君

担当 国際奉仕委員会

リ米山奨学生タピア・ミゲル・レオ・バーカス君を迎えて例会を開催いたしました。堺市にあるプール学院大学国際文化学部国際文化学科の4年生で、フィリピンのミンダナオ島、ダバオ市出身です。卒業後は地元に戻り日本で得た知識を活かしフィリピンと日本の架け橋となる日本語教師になろうと勉学中で、米山奨学会が受け入れている唯一のフィリピン出身者です。

招請した理由は、諏訪湖RCでは、フィリピン・セブ島支援は7年余に渡っており、現在“セブ島の子供たちに音楽を!!”を進めています。支援対象であるフィリピンについて理解し、多くの情報を得て有効な支援をするためです。尚、タピア君の招請に、諏訪ロータリークラブのpastガバナー三井章義氏のご援助をいただきました。

前日31日に有志により歓迎レセプションを開催いたしました。



タピア・ミゲル君に加え、同行された世話人京谷知明様、米田真理子2640地区pastガバナー、久保治雄ガバナーエレクト、雪本孝治ガバナー補佐、2600地区からは、三井章義pastガバナー、宮坂宥洪ガバナーエレクト、山崎晃諏訪グループ・ガバナー補佐にもご参加いただき盛会でし

た。

ミゲル君の卓話を掻い摘んでお知らせします。



セブ島の子供たちに音楽を!!事業について:音楽好きなフィリピン人にとって日本で使わなくなった鍵盤ハーモニカをリハビリしてフィリピンの教育に生かすことは素晴らしいことだと評価し、多くの学校に届けて、音楽教育の普及に役立ててほしいと提案されました。

日本及び日本人の印象:日本での便利さや静けさ、時間厳守、仕事に対する態度に感動したこと、また安定し



た社会基盤により発展する日本はフィリピン人にとってもチャンスが溢れている国と思えること、しかし来日するには大きな財政的困難があると述べています。フィリピンの現状は、国内にも働く場所があるが、報酬は低く、下層階級の人々には、その職もないこと、さらに海外に働く場を求めて欧州、北米、中東、東南アジアの海外諸国で労働し家計を維持する場合が多く、フィリピン人は世界各国に散らばって何処の国にもいる。

さらに、フィリピンからの看護師を日本が受け入れることも素晴らしいことですが、退職後の生活をフィリピンの福祉施設で過ごすことも考えても良い

のではないかと提案されました。

夢と現実について:夢を持つことは素晴らしいことだが、自分が今まで積み上げてきたものを、自分ができることを着実にやって、夢へ近づいていく事が大事であると思っている。

フィリピン人のボランティア精神・活動について:  
スペインに300年間支配されたためスペインの影響、特にキリスト教の影響を大きく受けています。  
Love your neighbor as you love yourself 汝の隣人を己のごとく愛せという教えがあります。自分が他人にしてあげたことはやがて自分に返ってくることを信じていると思っていたけれど、実際は自分の事で手一杯で、自分の事しか考えていなかった。  
来日し、東京で道に迷った外国人女性を勇気を出して助けた時、彼女の示した感謝に接して、人を助けることの喜びを体験しました。報いは何も得られませんが彼女の示した感謝が何よりもうれしかった。報酬を期待せず満足するその気持ち、それが今までの人生で一番気持ち良い出来事でした。貧乏だから、頭が悪いからといって助けられないと思うのではなく、一人ひとりには自分にしかない力があるから、絶対自分には人助けが出来ると思えることが大事です。お金で買えない貴重な経験ができたしその経験から良いことを学んだのです。



ボランティア精神を持っているフィリピン人は少ない。それでいてフィリピン人はプライドが高い。それも何かのきっかけがあれば変わることができる。

異文化で育ったから、肌の色が違うそうしたことは人間であること、心の奥での鼓動では同じです。人間同士で助け合い、人間同士で共に生きることが東京での出会いが教えてくれました。

これからの私:現在良い日本語の教師になるため頑張っていますが自分のように日本語と英語のスキルを上げ、他の人を助けられる人を育てて行こうと思っています。フィリピンと日本の架け橋として頑張っていこうと思っています。ご支援よろしくお願いたします。